



日本防火技術者協会ニュース

特定非営利活動法人日本防火技術者協会

年次総会概要報告

NPO 法人日本防火技術者協会発足後、第5回となる平成20年度総会を開催しました。また、SFPE日本支部総会も当総会后に、引き続き開催され、香港支部、台湾支部の代表を招待したシンポジウムも開催しました。

NPO 法人日本防火技術者協会 平成20年度通常総会

日時 平成20年2月1日(金)
13時~13時30分

場所 東京理科大学森戸記念館

議題内容

- 1) 平成19年度事業報告
- 2) 平成20年度活動計画
- 3) 会計報告、予算計画
- 4) 監査報告
- 5) その他

【総会参加者】

会員数：123名(賛助会員を除く)
総会成立条件 委任状を含めて会員の過半数の出席(定足数64名)
出席者 出席31名、委任状60名
合計91名

【配付資料】

- (1) 理事長 ご挨拶
- (2) 平成19年度 事業報告書
- (3) 平成20年度事業計画書
- (4) NPO法人日本防火技術者協会活動計画
- (5) NPO法人日本防火技術者協会平成19年度決算書
- (6) 平成19年度 会計貸借対照表
- (7) 平成19年度 会計収支計算書
- (8) 平成19年度 会計財産目録
- (9) 平成20年度 会計収支予算書
- (10) 他団体の行事に対する共催・後援・協賛・会員への情報提供の一般ルール

【審議事項】

- (1) 第一号議案 議長の選任
- (2) 第二号議案 議事録署名人の選任
- (3) 第三号議案 平成19年度事業報告
- (4) 第四号議案 平成20年度活動計画
- (5) 第五号議案 平成19年度会計報告
- (6) 第六号議案 平成20年度予算
- (7) 第七号議案 監査報告

議事の経過の概要及び議決の結果

総会の開始に当たり、福井総務理事から総会の定足数について報告があり、総会の定足数を満たしており、総会が成立したことが宣言された。



引き続き、笠原勲理事長の新年度を迎えるの挨拶があった。



(1) 第一号議案 議長の選任

司会より笠原勲氏を議長に指名し、全員異議なくこれを承認した。

(2) 第二号議案 議事録署名人の選任

議長より本日の議事をまとめるにあたり、議事録署名人2名を選任することを諮り、栗岡均氏、万本敦氏を選任することを、全員異議なく了承した。

(3) 第三号議案 平成19年度事業報告

福井総務理事より平成19年度活動結果報告があり、審議したところ、全員異議なくこれを承認した。

主な活動内容は、以下の通りである。

1) 調査研究事業(シンポジウム開催)

1月19日「高齢者福祉施設の性能的火災安全設計-日本と諸外国のケーススタディ」を開催した。

2) 調査研究事業(見学会開催)

6月12日「新国立美術館・東京ミッドタウン」の見学会を開催した。

3) 調査研究事業(ルールの策定)

9月から11月にかけて、「他団体の行事に対する共催・後援・協賛・会員への情報提供の一般ルール」の策定作業を実施した。

4) 防火技術者の連携事業

ホームページのメンテナンスを行った。JAFPEニュース(11~14号)をEmailで配信した。

5) 防火技術者の国際的連携事業

9月23日、アジア・オセアニア地域交流会及び香港建築物視察を開催した。

(4) 第四号議案 平成20年度活動計画について

福井総務理事より平成20年度活動計画についての説明があり、審議したところ、全員異議なくこれを承認した。

(5) 第五号議案 平成19年度会計報告

池田会計理事より平成19年度会計報告があり、審議したところ、全員異議なくこれを承認した。



(6) 第六号議案 平成20年度予算について

池田会計理事より平成20年度予算についての説明があり、審議したところ、全員異議なくこれを承認した。

(7) 第七号議案 監査報告

濱田監事より、平成19年1月1日から平成19年12月31日までの事業年度における理事の業務状況および財産の状況についての監査報告がされた。

【平成20年度活動計画】

1) 防火啓発事業

消防機関などと連携し、防火まちづくりや少子高齢社会の防火のあり方や技術の広範な普及のための活動を行う。開催時期としては十分な準備をして、年末の火災予防週間などの候補日を検討する。また合わせて日常の防火安全も話題として加えることもあろう。昨年実施できなかった地下空間探検隊もマップづくりなどに着手したい。

2) 火災安全の広報事業

ホームページを利用し、NPO法人の活動を紹介すると共に、ビルあるいは公共空間の防火管理などに関する有益な情報を提供する。またニュースという形で定期的な会員も含めて市民が閲覧できるものを提供する。国際的・学術的な情報発信も合わせて行う。

3) 調査研究事業(見学会)

竣工建物の見学会などを企画する。広くインターネット・ホームページなどで参加



日本防火技術者協会ニュース

特定非営利活動法人日本防火技術者協会

を呼びかける。特に防災的な観点で説明者や案内者をお願いする。o会員からの希望もあり、対象は東京に限らず選択する。会員からの情報提供にも期待する。年2回程度の開催を目指す。

4) 調査研究事業(講習会)

火災安全性能や防火技術などの紹介のシンポジウムを建築学会や火災学会などと連携して年2回程度開催する。高齢社会対応やユニバーサルデザインなど防火技術の新展開も紹介できるようにする。また時々のトピックスにも対応した新鮮なものも視野にいれたい。

5) 防火技術者の連携事業

インターネットを活用したものとする。Email配信やホームページなどで防火技術者の技術向上のための情報を提供する。また倫理維持のための防火技術者の職能などについても、広く建築学会や火災学会、関係諸団体とも交流して意見交換を行う。研究会は定期的に開催する。

6) 防火技術者の連携事業

2007年の香港での交流会に引き続き、特にアジアの防火技術者との交流を図って行く。4月のニュージーランドでの第7回SFPE(防火技術者協会)性能基準・性能設計シンポジウムへの参加。5月の台湾におけるアジアの防火技術者との交流会などを予定している。

[2007年度活動報告] [2008年度活動計画]

1) 対外活動

9/23 アジア・オセアニア地域交流会及び香港建築物視察。香港大学チョー・ワンキ教授の御協力により開催。香港、台湾、韓国、中国本土、日本(18名?)より参加。台湾支部設立承認式、活動報告と意見交換。午後建物視察。今年は5/31に台湾にて交流会を予定。多くの参加者を期待している。

2) 防火技術職能WG

建築学会防火委員会防火技術職能検討WGとして活動、メンバーは富松(主査)、仲谷、水野、海老原、佐藤、角谷、中島、笠原、上原。契約の方法、建築士制度との関連などを検討。今後アンケートや実態調査を通じて「職能提言」としてまとめる予定。3/5、7/9、9/10、11/19に開催。

3) 老人福祉施設、学校教育施設の避難安全に関する研究会(防災診断・教育ツールWG)

メンバーは佐藤(主査)、仲谷、笠原、青木、大野、栗岡、建部、富松。まず老人福祉施設についての既往研究と東京消防庁の認定制度についての研究。講師に神、古川氏を招く。今後見学などを通じて課題をまとめていく。予瓦また学校教育施設にも着手する。5/14準備会、7/18、9/12、11/5、12/10開催した。

4) SFPEケーススタディ G

ニュージーランドの性能設計国際シンポジウムに向けて7/24 第1回委員会開始し、1月末締め切りの最終レポート作成中。(総会時点)

5) 見学会・講習会(事業WG)

各WGの活動はそれぞれを参照
1/19 総会后「高齢者福祉施設の性能的火災安全設計-日本と諸外国のケーススタディ」を開催した。
6/12 新国立美術館・東京ミッドタウン見学会を開催した。
6/15 .G.Quintiere教授講演会(主催東京理科大学21世紀COEプログラムの協賛)を開催した。

6) 広報活動

SFPE-Jニュース(仮題)はそのまま「NPO法人日本防火技術者協会」の広報ともなり日本防火技術者協会ニュース

(JAFPEニュース)の一部に掲載。14-17号3回発行。(14号と15号は合併号)

防火教育セミナー概要報告 「煙流動予測技術の進歩」

日時:平成20年2月1日(金)
10:00~12:00

場所:東京理科大学森戸記念館

主催:NPO法人日本防火技術者協会 / SFPE 日本支部

東京理科大学 21世紀COEプログラム
「先導的建築火災安全工学研究の推進拠点」

京都大学防災研究所(田中研究室)

配付資料:科学研究費報告書(多層ゾーン)



プログラム:

1. 多層ゾーンモデルの開発

鈴木圭一、清水建設(株)
二層ゾーンモデルに取ってかわることができる可能性がある多層ゾーンモデルの開発状況を報告し、プログラムの講習を行う。開発には、文科省科学研究費科学研究費補助金の助成を受けており、参加者には報告書(無料)とプログラムを収録したCD-ROM(実費を含む)を配布された。

2. ゾーンモデルにおける火災感知器の作動予測アルゴリズム

渡邊純一、松下電工(株)
ゾーンモデルと併用して感知器の作動時間を予測するモデルを紹介し、計算の原理、適用方法について解説する。この方法は、多層ゾーンモデルのプログラム中にサブプログラムとして採用されている。

3. 煙制御設計方法報告書の紹介

久次米真美子、(株)日建設計
最近では加圧防煙システムなど性能の見地からの煙制御設計についてその重要性が再認識され始めている。本講演では、建築学会近畿支部防災計画部会・加圧防煙



SFPE・Jニュース
(SFPE 日本支部
の活動 第18・19号)

SFPE 日本支部 2008年度通常総会

日時 2008年2月1日(金)
14時00分~14時00分
場所 東京理科大学森戸記念館

【議題内容】

- 1) 2007年度活動報告
- 2) 2008年度活動計画報告
- 3) その他

【配付資料】

- (1) SFPE 日本支部関係活動報告と計画
- (2) 会員名簿



日本防火技術者協会ニュース

特定非営利活動法人日本防火技術者協会

システム研究会で検討を重ねてきた建築物の煙制御設計に関する報告書の概要を紹介した。

講演3で紹介された報告書「建築物の煙制御設計(案)」は、日本建築学会近畿支部にて頒布しております。費用は、定価(2000円)+送料(340円)です。詳しくは下記のホームページをご覧ください

<http://news-sv.aij.or.jp/kinkib/dppr/dppr.htm>

「近隣アジア諸国との連携を探る」シンポジウム開催概要報告

主催：NPO 法人日本防火技術者協会 / SFPE 日本支部

日時：平成20年2月1日(金) 14:30~17:00

場所：東京理科大学森戸記念館

主題：「近隣アジア諸国との連携を探る」

1. 近隣アジア諸国 SFPE 支部の現状と交流 関沢 愛(SFPE 日本支部)



2. 中国での性能的設計事例の紹介 Dr. Mingchun Luo, (ARUP Hong Kong)



3. 台北駅の防災計画他の台湾における性能的防火安全設計事例の紹介 簡 賢文(SFPE 台湾支部長)



SFPE ミニ講演会開催概要報告 「NZにおける防火技術者の現状と課題」の講演と討論の夕べ

Current Situation and Issues of Fire Protection Engineers and their Profession in New Zealand

主催：NPO 法人日本防火技術者協会 / SFPE 日本支部

講演者：Dr Geoff Thomas
Senior Lecturer, Structures and Fire Safety School of Architecture, Victoria University of Wellington NEW ZEALAND

開催日時：3月13日(木) 17時30分~19時30分。

会場：東京理科大・森戸記念館

3月13日の夕方に、理科大 COE シンポジウムで来日したニュージーランドの

ウェリントン大学のジェフ講師によるミニ講演会を開催しました。ジェフ講師は、以前、火災誌においてニュージーランドにおける建築防火基準の性能規定の現状と課題に関する報告記事を書いた方であり、ニュージーランドの防火技術者協会での数年間における防火技術者の職能に関する検討結果について報告して頂きました。

今回も身近なアジア・オセアニア地域での他国の実情を聴く良い機会となりました。終了後、有志により懇親会を開きました。

第7回性能基準と火災安全設計法に関する国際会議

SFPE 主催の第7回性能基準と火災安全設計法に関する国際会議は、2008年4月16~18日にニュージーランドのオークランドで開催されました。



国際会議におけるケーススタディの発表は、4月18日無事終了した。日本からは発表者として福井(日建設計)、土屋(明野設備)、間瀬(大林組)、仁井(建築研究所)の4名が参加した。最後の順番の発表だったが、内容は他国に見劣りせず、きちんと設計をしていたという点で他と一線を画していた。今後、他国のケーススタディの内容も含めて報告の機会を設けていきたい。



モーガン・ハーレイ氏講演会開催のお知らせ

SFPE 本部のモーガン・ハーレイ氏が日本支部との協議のため来日することになりました。

この機会に SFPE 本部の活動状況をお聞きする機会を持つことと致しました。



日本防火技術者協会ニュース

特定非営利活動法人日本防火技術者協会

アメリカを中心とする各国の活動状況等、防火技術者に関する興味あるお話が聞けることと思います。是非、多くの日本支部会員各位の参加をお願いいたします。

日時：2008年5月13日(火)
15時30分～17時30分

場所：霞山会館会議室(Room8)

霞ヶ関コモンゲート西館37階

住所：千代田区霞が関三丁目2番1号

交通案内：東京メトロ銀座線「虎ノ門」駅
霞が関コモンゲート西館まで
連絡通路で直結しています。

TEL. 03-3581-0401(代表)

参加費：無料

なお、参加を希望される方は、下記に申し込み下さい。fukui@nikken.co.jp

第2回地下鉄探検隊

開催のお知らせ

(地下駅空間体験)

主催：NPO法人日本防火技術者協会

日時：2008年7月4日
13:00 - 14:00

地下鉄探検：渋谷駅 西早稲田駅
(地下鉄15号線、副都心線)

集合場所：渋谷駅八チ公前広場

集合時間：13時

参加をご希望の方は、13時までに渋谷駅八チ公前に集まりください。

「地下駅空間の防災シンポジウム」

開催のお知らせ

主催：(社)日本火災学会

(避難行動専門委員会)

後援：日本防火技術者協会

地下鉄駅舎やコンコースなどの地下駅空間は、大都市を中心にますますその規模拡大や深層化が進んでおり、また、いわゆる「エキナカ」と呼ばれる商業空間が増加しつつある。しかしながら、地下空間では、ひとたび火災が発生すると煙の拡散方向と避難方向が重なるという問題があり、また、通勤通学時には不特定多数の利用者が集中するという特徴をもっている。加えて、自然光の導入が困難であるため、停電や火災の煙により視界の確保が困難となるほか、閉鎖空間であることから煙や熱が滞留しやすいという危険性もある。消火や救助などの消防活動の立場からは、火災場所の

特定や延焼状況の把握が困難であり、消防隊の進入経路も制限され、煙の流出する出入口から進入せざるを得ないという危険な場合も少なくない。本シンポジウムでは、このような地下駅空間に潜む火災時の避難や消防活動上の問題について報告を頂き、今後の課題を整理する。

主題：「地下駅空間の火災と避難 - 地下で火災になったらあなたはどすする? -」

日時：2008年7月4日

14:30 - 18:00

場所：早稲田大学理工学部大久保キャンパス
55号館N棟 1階 大会議室

所在地：169-8555 新宿区大久保3-4-1

アクセスルート：

副都心線(西早稲田駅徒歩1分)

JR山手線(高田馬場駅徒歩15分)

西武線(高田馬場駅 徒歩15分)

定員：100名

参加費：無料(ただし、テキスト代有料)

申込み：当日受付

プログラム(案) 14:30-18:00

司会 佐野友紀(早稲田大学)

1) 主題解説

長谷見雄二(早稲田大学)

2) 地下駅空間火災の事例と解析

山田常圭(消研センター)

3) 地下駅空間における消防活動上の問題

松浦和夫(東京消防庁)

4) 駆け上がり避難の問題

萩原一郎(建築研究所)

5) 地下駅における非常時の避難計画の現状：石突光隆(鉄道総合技術研究所)

6) 地下駅空間体験報告

富松太基(日本設計)

7) 総合討論

* 演題等は変更する可能性があります。最新の情報は本会ホームページでご確認下さい。

なお、本シンポジウム当日には、関連企画「地下駅空間体験」を併せてご参加願います。

安全工学シンポジウム2008

- 安全工学の創造的発展 -

開催のお知らせ

2008年の安全工学シンポジウムは(社)土木学会が幹事学会で開催されます。当協会と関連のある、オーガナイズセッションやパネルディスカッションが予定されて

いますのでお知らせします。

主催：日本学術会議総合工学委員会

幹事学会：(社)土木学会

共催：日本建築学会、日本火災学会他、38学協会

日時：2008年7月10日(木)11日(金)

会場：日本学術会議 講堂・会議室

(地下鉄千代田線乃木坂駅下車)

参加費：入場無料。

講演予稿集は当日会場で実費頒布

(1部5,000円、学生1部2,000円)

問合せ先：(社)土木学会

安全工学シンポジウム担当：岩西

(iwanishi@jsce.or.jp)

電話：03-3355-3559

FAX：03-5379-0125

Journal of Fire Protection

Engineering

Vol.18 No.1 Feb. 2008

Effect of Partial Loss of Spray-on Protection on the Load Capacity of Steel Beams during a Standard Fire, (耐火被覆吹き付け材の部分的な脱落による標準火災に対する鋼製梁の荷重指示能力の喪失)

Y. Kang, G. V. Hadjisophocleous and H. A. Khoo

Influence of Draft Curtains on Sprinkler Activation - Comparison of Three Different Models, (スプリンクラー作動におけるドラフトカーテンの影響 - 3つの異なるモデルの比較)

B. P. Husted and G. Holmstedt

Corrosion of Electronic Components by Hydrogen Fluoride, (フッ化水素による電子部品の腐食)

A. Kim and G. Crampton.

Fire Protection Engineering

No.37 Winter 2008

Millennials - The New Source of Young Talent (千年祭 - 若い才能の新しい源)

Why this new generation is well-suited for the fire protection..(この新世代は、防火工学に向いているか)

David A. Lucht, P. E., FSFPE.



日本防火技術者協会ニュース

特定非営利活動法人日本防火技術者協会

Engineering Bachelor Degrees Continue to Climb.(工学士取得者数が上昇中)

Information on the number of degrees awarded in the U.S., to whom they are awarded and in what disciplines.(米国内で与えられた学位数、授与者および内容に関する調査)

Dan Bateson.

Smokeview : A Visualization Tool for Understanding Fire Dynamics, (Smokeview:火災動力学を理解するための可視化ツール)

How Smokeview works to display fire effects. (Smokeview はどのようにして火災現象を表示するために動作するか)

Glenn P. Forney, Ph. D.

After 100 Years of Engineering Licensure, What's Next ? (100年間の開業免許の次に何が必要か?)

Stronger engineering and licensure requirements may be in store for the future(より強いエンジニアリングおよび開業免許必要条件は将来必要になるかもしれない)

Chris Jelenewicz, P. E.

It's Not Your Father's Fire Alarm Code Anymore, Part 2 of 2, (それはこれ以上あなたのお父さんの火災警報コードではありません、2の一部2)

Tomorrow's notification systems will look much different than those of the past(明日の通知システムは非常に過去のものとは異なっているように見えます。)

NEMA

新入会員

新たに入会された個人会員14名
学生会員12名賛助会員1団体の方々
を記載しました。(敬称略)

〔会員〕

天野賢志〔榊損保ジャパン・リスクマネジメント〕
長谷部弥〔清水建設〕
梶山隆史〔大成建設〕
出口嘉一〔竹中工務店〕
花井英江〔アイエヌジー〕
植田雄祐〔住商アーバン開発株式会社〕
石突光隆〔鉄道総合技術研究所〕
北堀 純〔明野設備研究所〕
田中秀一〔東日本旅客鉄道〕
久野正博〔竹中工務店〕
渡邊純一〔松下電工株式会社〕
辻本 誠〔東京理科大学〕
西田幸夫〔東京理科大学〕
大岩大祐〔東京理科大学〕
〔合計122名〕

〔学生会員〕

城 明秀〔東京理科大学〕
宮内智也〔東京理科大学〕
寺川 喬〔東京理科大学〕
桑名裕太〔東京理科大学〕
小玉直史〔東京理科大学〕
佐藤 歩〔東京理科大学〕
松浦郁実〔東京理科大学〕
川村淳之佑〔東京理科大学〕
中村真紀子〔東京理科大学〕
松井昭博〔東京理科大学〕
長岐雅博〔東京理科大学〕
渡辺明美〔東京理科大学〕
〔合計13名〕

〔賛助会員〕

フォーラムエイト
〔合計6団体〕(計8口)

理事会等の開催結果

理事会を以下の日に実施しました。
1月15日(火)
2月21日(金)
4月23日(水)